

桐生繊維業界の実態

平成20年1月～12月

桐生市繊維振興協会

桐生繊維業界の概要

※ 桐生市繊維振興協会の加盟団体を対象に、平成20年1月～12月までの業界実態を調査し、作成しました。（なお、桐生商工会議所 繊維部会、桐生織伝統工芸士会、有限責任事業組合 起龍については、組合員重複により調査対象とせず。）
また、加盟団体の退会等により調査対象に変更が生じる為、前年対比は参考数字とさせて頂く事を予めご了承下さい。

1. 調査対象団体数	13 団体	
2. 産地収入		
(1) 生産高	180 億5,289 万円	
(2) 加工高	23 億1,438 万円	
(3) 販売高	89 億6,311 万円	
計	293 億3,038 万円	
退会団体の収入（推定：前年対比85%）	24 億9,318 万円	
計	318 億2,356 万円	（前年対比 85%）
3. 組合員数（事業所数）	340 事業所	
4. 総従業員数（家族従業員含む）	2,373 人	
5. 一事業所当たり従業員数	7 人	
6. 一事業所当たり生産加工販売高	8,627 万円	
7. 年度別産地収入高		
平成 元年 産地収入	841 億7,076 万円	（前年対比107%）
平成 2年 産地収入	931 億1,687 万円	（前年対比111%）
平成 3年 産地収入	908 億7,740 万円	（前年対比 98%）
平成 4年 産地収入	1,001 億1,232 万円	（前年対比110%）
平成 5年 産地収入	893 億2,611 万円	（前年対比 89%）
平成 6年 産地収入	845 億3,438 万円	（前年対比 95%）
平成 7年 産地収入	733 億6,672 万円	（前年対比 87%）
平成 8年 産地収入	678 億3,478 万円	（前年対比 92%）
平成 9年 産地収入	616 億9,017 万円	（前年対比 91%）
平成10年 産地収入	528 億4,669 万円	（前年対比 86%）
平成11年 産地収入	473 億6,503 万円	（前年対比 90%）
平成12年 産地収入	444 億7,222 万円	（前年対比 94%）
平成13年 産地収入	416 億8,724 万円	（前年対比 94%）
平成14年 産地収入	376 億2,047 万円	（前年対比 90%）
平成15年 産地収入	346 億0,005 万円	（前年対比 92%）
平成16年 産地収入	453 億8,571 万円	（前年対比131%）
平成17年 産地収入	436 億5,236 万円	（前年対比 96%）
平成18年 産地収入	397 億4,442 万円	（前年対比 91%）
平成19年 産地収入	375 億4,078 万円	（前年対比 94%）

1. 組合員数及び従業員数

団体名		組合員数 (事業所数)	従業員数				従業員 平均年齢 (歳)	
			雇用従業員 (人)		家族従業員 (人)			計 (人)
			男性	女性	男性	女性		
桐生織物協同組合	広幅協議会	72	202	233	72	87	594	54
	内地協議会	70	162	292	64	67	585	57
桐生染色協同組合		14	50	16	7	5	78	55
桐生繊維製品協同組合		24	149	211	28	26	414	42
桐生織物産地元売組合		4	7	4	0	2	13	52
桐生糸商組合		10	21	11	17	9	58	49
桐生刺繍商工業協同組合		44	83	127	70	69	349	58
東日本編レース工業組合		11	21	13	21	14	69	51
桐生意匠組合		12	2	2	3	7	14	53
桐生紋紙組合		14	6	0	18	10	34	59
東毛ジャカード刺繍協同組合		9	12	14	9	9	44	48
桐生織物商友会		15	22	8	9	9	48	56
桐生テキスタイル商業グループ		6	35	19	4	1	59	44
桐生和服裁縫組合		35	0	10	1	3	14	48
合計		340	772	960	323	318	2373	

注

- (1) 平成 7年 1月13日 群馬県綿スフ織物工業組合 解散し退会。
- (2) 平成 7年 5月17日 桐生織伝統工芸士会 入会。
- (3) 平成10年 3月31日 両毛輸出織物整染工業組合 解散し退会。
平成10年 3月31日 両毛輸出スカーフ組合 解散し退会。
平成10年 3月31日 桐生織物商業組合 解散し退会。
- (4) 平成10年 4月 1日 桐生和服裁縫組合 入会。
- (5) 平成11年 3月31日 桐生金銀糸協同組合 解散し退会。
- (6) 平成12年 3月31日 桐生撚糸工業組合 解散し退会。
- (7) 平成13年 3月31日 桐生織物整経協同組合 解散し退会。
- (8) 平成18年11月28日 有限責任事業組合 起龍 入会。

2. 生産、加工高及び取引先区分（工業部門）

団体名		生産高 (万円)	加工高 (万円)	計 (万円)	前年対比 (%)	取引先区分 (%)	
						県内	県外
桐生織物協同組合	広幅協議会	481,698	35,764	517,462	88	0	100
	内地協議会	285,900	-	285,900	89	0	100
桐生染色協同組合		-	69,000	69,000	99	55	45
桐生繊維製品協同組合		844,002	62,094	906,096	73	10	90
桐生刺繍商工業協同組合		50,500	54,500	105,000	98	70	30
東日本編レース工業組合		95,473	-	95,473	99	60	40
桐生意匠組合		6,650	-	6,650	81	90	10
桐生紋紙組合		7,800	-	7,800	96	90	10
東毛ジャカード刺繍協同組合		33,266	4,580	37,846	97	2	98
桐生和服裁縫組合		-	5,500	5,500	89	50	50
合 計		1,805,289	231,438	2,036,727	82	14	86

3. 販売高及び取引先区分（商業部門）

団体名	販売高 (万円)	前年対比 (%)	取引先区分 (%)	
			県内	県外
桐生織物産地元売組合	68,000	97	15	85
桐生糸商組合	513,000	94	67	33
桐生織物商友会	81,071	106	12	88
桐生テキスタイル商業グループ	234,240	85	1	99
合 計	896,311	92	41	59

注

(1) 今回調査より桐生織物商友会の調査対象企業に変更あり。

4. 内需向、輸出向区分

団体名		内需向		輸出向		計 (万円)
		金額 (万円)	割合 (%)	金額 (万円)	割合 (%)	
桐生織物協同組合	広幅協議会	448,732	87	68,730	13	517,462
	内地協議会	285,900	100	-	-	285,900
桐生染色協同組合		69,000	100	-	-	69,000
桐生繊維製品協同組合		842,670	93	63,426	7	906,096
桐生織物産地元売組合		68,000	100	-	-	68,000
桐生糸商組合		513,000	100	-	-	513,000
桐生刺繍商工業協同組合		105,000	100	-	-	105,000
東日本編レース工業組合		93,563	98	1,910	2	95,473
桐生意匠組合		6,650	100	-	-	6,650
桐生紋紙組合		7,800	100	-	-	7,800
東毛ジャカード刺繍協同組合		37,846	100	-	-	37,846
桐生織物商友会		81,071	100	-	-	81,071
桐生テキスタイル商業グループ		222,528	95	11,712	5	234,240
桐生和服裁縫組合		5,500	100	-	-	5,500
合計		2,787,260	95	145,778	5	2,933,038

5. 各団体の取扱品目

団体名	品 目				
	割 合 (%)				
桐生織物協同組合 (広幅協議会)	服地	インテリア・ 資材	ネクタイ	その他	
	64	22	10	4	
桐生織物協同組合 (内地協議会)	帯地	広幅生地	服飾品	着尺	
	65	15	14	6	
桐生染色協同組合	合織	レーヨン・アセテート・ キュプラ	綿・ウール	絹	
	60	27	5	8	
桐生繊維製品協同組合	ブラウス	ニット・ カットソー	カーテン生地	ワンピース	その他
	31	28	12	5	24

団体名	品 目				
	割 合 (%)				
桐生織物産地元売組合	帯地	二次製品	着尺	服飾工芸	その他
	55	20	5	10	10
桐生糸商組合	化合織	綿・スフ	その他		
	80	13	7		
桐生刺繍商工業協同組合	婚礼衣裳	婚礼加工	プラス・ニット加工	ハンカチ加工	雑貨
	20	20	15	15	30
東日本編レース工業組合	インテリア	衣料	資材		
	72	15	13		
桐生意匠組合	金襴	インテリア	洋反	帯	
	24	22	42	12	
桐生紋紙組合	紋紙	エンドレス ペーパー	フロッピー		
	30	40	30		
東毛ジャカード刺繍協同組合	ワッペン	Tシャツ	ワッポイント刺繍	トレーナー	プリント加工
	46	29	14	3	8
桐生織物商友会	帯	二次製品	着尺	和装小物	その他
	40	20	1	35	4
桐生テキスタイル商業グループ	服地	ニット関係 (丸編、ラッセル、トリコット)		その他	
	60	39		1	
桐生和服裁縫組合	着物	帯	長襦袢	コート・羽織	
	65	2	30	3	

6. 生産加工部門の現有設備状況

団体名	設備名	数量(台)
桐生織物協同組合(広幅協議会)	普通織機	756
	自動織機(片レピア含)	250
	超自動織機(レピア)	408
	計	1414
桐生織物協同組合(内地協議会)	広幅織機	70
	並幅織機	748
	小幅織機	156
	自動・レピア織機	206
	計	1180
桐生染色協同組合	常圧噴射式染色機	65
	高圧噴射式染色機	19
	汎用染色機	20
	チーズ及びケーキ染色機	35
	計	139
桐生繊維製品協同組合	縫製マシン(特殊含)	249
	プレス	26
	裁断機	7
	その他	150
	計	432
桐生刺繍商工業協同組合	横振マシン	50
	多頭式マシン	370
	計	420
東日本編レース工業組合	ジャカード落下板付きラッセル機	22
	ジャカード落下板付きコンピューター機	7
	チェーンラッセル機	50
	チェーンラッセルコンピューター機	8
	計	87
桐生意匠組合	デザインシステム	32
	拡大機	4
	コピー機	14
	計	50
桐生紋紙組合	デザインシステム	24
	カードパンチ	13
	横彫カット・エンドレス	18
	ワンパンチ	6
	計	61
東毛ジャカード刺繍協同組合	コンピューターマシン	35
	プレス	7
	本縫いマシン及びその他の機械	35
	パンチング・製版機	4
	計	81

7. 最近の推移（H20年10月～H21年2月）

団体名	受注・引合の状況				販売（加工）単価の状況			
	増	変わらず	下降	前年対比 （%）	増	変わらず	下降	前年対比 （%）
桐生織物協同組合（広幅協議会）			○	90		○		100
桐生織物協同組合（内地協議会）			○	80		○		100
桐生染色協同組合			○	98		○		100
桐生繊維製品協同組合		○		100		○		100
桐生織物産地元売組合		○		100			○	95
桐生糸商組合			○	70			○	85
桐生刺繍商工業協同組合			○	98			○	98
東日本編レース工業組合			○	98			○	99
桐生意匠組合			○	90		○		100
桐生紋紙組合			○	90			○	90
東毛ジャカード刺繍協同組合			○	90		○		100
桐生織物商友会			○	90			○	90
桐生テキスタイル商業グループ			○	85			○	95
桐生和服裁縫組合			○	90			○	90
合計	0	2	12		0	6	8	

8. 商品 消費者ニーズの変化について、平成20年(1月～12月)の状況、事業概要、今後の課題

桐生織物協同組合

商品 消費者ニーズの変化について

- ・服地部門は、前半は堅調に推移したが、アメリカに端を発した世界同時不況による不況感からか、消費者の買い控えが起きている。
- ・和装部門は、定番商品だけでは消費者の興味を引くことは難しく、今まで市場で目にするのが少なかった製品が求められており、中でも消費者に対して説得力のある製造法や目新しさなどがアピールできる商品が興味を持たれる傾向にある。

平成20年の状況、事業概要

- ・服地部門は、10月に桐生テキスタイルコレクション2009AWと題し、東京・青山にて展示会を開催した。また、JFWジャパングリエーションに出展参加した。輸出向けにあっては、中国華南地区を中心に見本市活動を行った。
- ・和装部門は、生活スタイルの変化による和装離れと流通の弱体化による影響が依然として大きく、現況経済の不安定な状況により、さらに和装製品には厳しい環境となっている。この状況に対応するため、市場にアピールできる新製品の開発事業や、集散地で開催する販路開拓事業などを積極的に展開した。

今後の課題

- ・服地部門は、不況の影響により、問屋、アパレルなど慎重にならざるを得ず、いち早い景気回復を期待している。また、輸出にあっては、円高の影響が著しく、適正な為替の状態に戻ることを期待している。
- ・和装部門は、懸案となっている和装離れの歯止め、消費者の業界に対する不信感払拭、安価な他産地製品・海外製品への対応などに加え、昨今の低迷経済により、さらに和装製品の消費が激減するなど、課題は増加するばかりである。

桐生染色協同組合

商品 消費者ニーズの変化について

- ・今年も服地は後染品が主力であった。ネクタイ、ハンカチ等はプリント品が多い。先染品も一定量の需要はあるものの、少量にて推移。

平成20年の状況、事業概要

- ・服地用糸染、和装用糸染ともに前年並みに推移。燃料の大幅な高騰や、染料助剤も高値。加工単価は若干引き上げられたが収益は悪化。

今後の課題

- ・高い技術力を生かした製品の開発や、いつ燃料等の大幅な高騰があっても対応できる態勢の確立が必要。桐生産地の高い技術力を生かした輸出に期待。

桐生繊維製品協同組合

商品 消費者ニーズの変化について

- ・委託加工中心の工場として、多品種・小ロット対応は避けられない状況であり、デザインの多様化も含め、消費者ニーズへの対応には大変苦勞している。

平成20年の状況、事業概要

- ・多品種小ロットへの対応、加工賃単価の低迷、10月以後の受注数の低迷等による経営の悪化。デザインの多様化と、それぞれ工程数の増加に伴いコストがかかり、採算割れも出てきている。

今後の課題

- ・現状の固定費の削減と小ロット対応のシステム構築が急務と考える。今後の受注状況や情報交換を交え、経営改善策を図る。

桐生織物産地元売組合

商品 消費者ニーズの変化について

- ・消費者は良品・高級品を安く購入する方向に進んでいる。流通業界においても、原価の高いものを安く売らなければならず、利益率が低下している。

平成20年の状況、事業概要

- ・呉服業界においては結婚式・葬儀における内掛・留袖・喪服・訪問着等の着用者がほとんどいない状況にあり、この分野の売上が年々減少している。
- ・成人式用の振袖・夏の浴衣は、着用する機会があり前年並であった。

今後の課題

- ・日本人に着物を着てもらう運動をしていかなければならない。そのためには着て行く場所、機会を増やすように業界全体で考えていくべきである。

桐生糸商組合

商品 消費者ニーズの変化について

- ・平成20年11月までは前年の状態とあまり変化なかったが、11月より現在に至るまで、月を追うごとに厳しくなっている。ユーザーの生産量減が極端であるようだ。

平成20年の状況、事業概要

- ・11月後半までは、世間の情勢よりも緩やかな変化にあったと思われるが、11月後半から12月にかけては厳しくなっていた。

今後の課題

- ・今後を模索している段階であり確たる方向性を見出すまでに至っていないが、少しでも先端の原料を多種紹介していかなければならない。

桐生刺繍商工業協同組合

商品 消費者ニーズの変化について

- ・安価で品質の良い物に目が向いている。高級ゾーンのニーズが減少している。

今後の課題

- ・各社連携をはかり産地工場の力を集約させ、桐生独自の高品質とキャパシティーの広さを発信していきたい。

東日本編レース工業組合

商品 消費者ニーズの変化について

- ・中国製品が市場から少なくなったが、全体的に最低に近い状況が続くと考えられ、販売

価格もこの状況であると思われる。

平成20年の状況、事業概要

- ・一般住宅やマンション等の建築件数が減少している中で、受注件数は大幅に少なくなった。ブラインド関係はヨーロッパ製品が主流であり、国産品は良品が少なく、販売数量も伸びていない状況である。

今後の課題

- ・国内から世界市場へ販売できる新商品の開発が急務であるが、素材の目新しい糸が無いので、古くて新しい天然素材の開発が急務と考えられる。各社が独自の新商品を世界市場へ送り出す努力が必要である。

桐生意匠組合

平成20年の状況、事業概要

- ・全体に仕事量が激減している話しばかりで、業界を取り巻く環境は甚だ厳しいものがある。また、組合員の高齢化により会員の減少も見られる。

今後の課題

- ・各社の特徴ある技術をより一層高め、会員相互の情報交換を密にして、その技術を桐生産地のために活かす努力をしていきたい。

桐生織物商友会

商品 消費者ニーズの変化について

高級品の販売は低下傾向。また、安価品でも商品購入は控え気味である。しかし、オリジナル性の高い商品は消費者のニーズに合えば強い。

平成20年の状況、事業概要

元々、和装(帯)などは低調な動きであったが、秋冬あたりから更に悪く苦戦ぎみとなった。和装製品、雑貨等の動きは順調である。

今後の課題

- ・展示会等を開催すると来客数は多く、不況の中、売れるものを模索する動きが多く見られる。当然のことだが、売れる商品、オリジナル性の高い商品、ニーズに合った商品づくり、新商品の提案などを積極的に進めていく必要があるだろう。

桐生テキスタイル商業グループ

商品 消費者ニーズの変化について

- ・中国を中心とする海外生産の低価格商品と、感性の高い高級品を求める消費者との二極化は依然として続いている。安物を購入しても満足感を得られない消費者が、上質感のある差別化された商品をデパートや専門店に求めているため、桐生産地商品の要求は継続されてはいるが、多品種小ロットの中での低価格傾向が顕著になっている。

平成20年の状況、事業概要

- ・米国発の金融危機により、世界同時不況の波が日本にも押し寄せてきて、円の独歩高によって輸出は大きなダメージを受ける一方、個人消費は減少の一途を辿っており、厳しい1年であった。具体的には、マイクロタフタの商品としての目新しさがなくなり、内需、輸出とも減少傾向にあり、特に他産地や外国との価格競争が激化し、リピート商品の値下げ等により利益が望めなくなってきた。一方で、顧客の要求は相変わらず多

種多様で、ますます小ロット化し、しかもクイックデリバリーを強いられている。

今後の課題

- ・世界で認められるような高技術・高感度商品を生み出し発展していくために、産地全体のレベルアップが必要である。年々、低価格、高技術、短サイクルが求められており、クイックデリバリーのシステム化や、産地側が主導権を握った商品開発など、課題は多い。

桐生和服裁縫組合

商品 消費者ニーズの変化について

- ・和裁のお客が、海外やミシン縫製へと流れてしまっている。

平成20年の状況、事業概要

- ・社会全体の不景気の余波が伝わってきている。仕事量が少なくなってきて数年、良い腕を持った技能者が減っているのが現状。ここまで行くと、技能者を育てきれない先行きに不安があります。特に10月よりの仕事量の落ち込みが大きかった。

今後の課題

- ・海外やミシン縫製では出来ない良い技術をお客様に理解してもらい、手縫いの良さをアピールし、組合員一人ひとりが自覚を持ち、また、協力をしていきたい。

以 上

桐生市繊維振興協会 加盟団体名簿

(順不同)

団体名	代表者名	所在地	電話 (0277)
桐生織物協同組合	後 藤 隆 造	桐生市永楽町5-1	43-2511
桐生染色協同組合	塚 本 祐 平	みどり市笠懸町阿左美470-19	40-5152
桐生商工会議所 繊維部会	木 村 俊 一	桐生市錦町3-1-15	45-1201
桐生繊維製品協同組合	大 川 泰 正	桐生市広沢町2-3368-2 大丸縫製(株)内	52-6061
桐生織物産地元売組合	木 村 俊 一	桐生市相生町2-230-1 (株)小野木商店 内	53-5131
桐生糸商組合	川 村 隆	桐生市仲町3-15-6 川村(株)内	44-4171
桐生刺繍商工業協同組合	下 山 勝	桐生市永楽町6-6	22-7919
東日本編レース工業組合	中 野 隆 雄	桐生市永楽町6-6	22-3847
桐生意匠組合	増 田 正 明	桐生市永楽町5-1 桐生織物(協)内	43-2511
桐生紋紙組合	高 松 靖 郎	桐生市宮前町1-6-60 (有)高松紋切所 内	22-4380
東毛ジャカード刺繍協同組合	西 村 千 春	桐生市新宿3-7-34	43-1166
桐生織物商友会	和 田 貞 之	桐生市川内町1-98-5 (株)ワダミツ内	65-6188
桐生テキスタイル商業グループ	阿 部 高 久	桐生市永楽町5-1 桐生織物(協)内	43-2511
桐生織伝統工芸士会	江 原 毅	桐生市永楽町5-1 桐生織物(協)内	43-2511
桐生和服裁縫組合	小 室 裕 子	桐生市広沢町2-3074-1	53-9789
有限責任事業組合 起龍	丸 山 裕	みどり市笠懸町阿左美1118 (株)大桐 内	32-5573

事務局 財団法人桐生地域地場産業振興センター内
 〒376-0024 桐生市織姫町2-5
 電 話 (0277) 46-1011
 F A X (0277) 40-1300